

令和4年度（2022年度）行政評価シート【個表】

令和 4 年 7 月 19 日

評価対象事業		評価者	下水道河川課長	加藤 隆志
都整-24	下水道事業(企業会計)	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	下水道河川課
		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	道水路管理課・下水道経営課・作業センター・浄化センター
総合計画上の位置付け	分野	下水道・河川	施策の方針	下水道の整備・管理

1 事業の目的

対象	市民等
意図	老朽化した下水道施設を計画的に維持管理し、安定的な下水道事業運営を行う。
効果	安定化した下水道処理が図られ、市民の生活環境の保全を図る。

2 令和3年度(2021年度)に実施した事業の概要

- ・台風や大雨による溢水や洪水等の被害を未然に防ぐため、雨水排水施設の修繕工事(極楽寺排水区、御谷川排水区)を行うとともに、要望対応処理を含む施設の修繕・浚渫等を行った。
- ・浸水被害解消に向け雨水排水施設を整備するため、雨水管築造工事(神戸川右岸第1排水区)を行った。
- ・管路施設内の堆積物の除去、伏越箇所の浮遊物・堆積物の除去・清掃や蓋の不具合による振動・騒音の解消及び道路陥没の原因となる破損した取付管等の修繕や布設替えを行った。
- ・宅内排水設備の設置に伴い、未設置となっている公共汚水ますを設置した。
- ・鎌倉処理区内のマンホール蓋更新工事、前年度からの建設改良費繰越により耐震化工事(小袋谷汚水幹線、大船東枝線)を行った。

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業(主な経費等)	指標(単位)	令和3年度		令和4年度	達成度
				指標(実績値/目標値)		指標(目標値)	
				事業費(決算/当初)(千円)		予算額(千円)	
01	汚水管渠費	汚水管渠等浚渫委託	-	- / -	-	-	
				105,289 / 112,122		130,633	
02	雨水管渠費	要望等からの修繕・浚渫等	-	- / -	-	-	
				33,000 / 49,066		125,674	
03	汚水管路建設費	公共汚水ます設置業務委託	-	- / -	-	-	
				16,109 / 26,673		54,783	
04	雨水管路建設費	雨水排水施設の整備延長等	-	- / -	-	-	
				96,092 / 188,135		121,880	
05	汚水管路改良費	汚水耐震化工事	-	- / -	-	-	
				59,945 / 309,403		90	
06	固定資産購入費	-	-	- / -	-	-	
				2,728 / 5,472		0	
07				/			
08				/			
09				/			
10				/			
		財源内訳	国県支出金	24,546 / 0		25,650	
			地方債	137,200 / 407,000		83,700	
			その他特定財源	90,364 / 164,942		81,680	
			一般財源	61,053 / 118,929		242,030	
			事業費の合計(千円)	313,163 / 690,871		433,060	
			人件費(千円)		70,883	64,088	

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等		9.0	8.0			
会計年度任用職員		2.0	2.0			

5 評価結果

(1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	污水管渠費	下水道事業会計全体としての指標を設定し、最小事業評価としての指標は設定しない。	公共下水道を良好に維持管理することで、市民の生活環境の向上に寄与した。	飲食店へ、油分を流さないなどの啓蒙活動を行う必要がある。
02	雨水管渠費	下水道事業会計全体としての指標を設定し、最小事業評価としての指標は設定しない。	公共下水道を良好に維持管理することで、市民の生活環境の向上に寄与した。	日常的に寄せられる要望については、要望内容を精査し、優先順位を決めて対応していく。
03	污水管路建設費	下水道事業会計全体としての指標を設定し、最小事業評価としての指標は設定しない。	下水道の普及により、河川、海洋の汚染防止に寄与した。	公共汚水まず設置業務の内容は整備工事だが、委託業務のため少額でも随意契約協議が必要なため、時間を要している。
04	雨水管路建設費	下水道事業会計全体としての指標を設定し、最小事業評価としての指標は設定しない。	公共下水道の整備を進め、市民の生活環境の向上に寄与した。	雨水整備事業には多大な費用を要するため、飛躍的な雨水整備率の上昇はさせることはできない。
05	污水管路改良費	下水道事業会計全体としての指標を設定し、最小事業評価としての指標は設定しない。	緊急輸送路の通行を確保することで、防災・減災に寄与した。	緊急輸送路は幹線道路のため交通量が多く、事前調査を詳細に行うことが難しく、着工後、設計変更で対応せざるを得ないケースがある。
06	固定資産購入費	-	-	-
07				
08				
09				
10				

(2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか	1 事業費の削減余地はない
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか	2 外部化に向けて検討できる事業がある
	関連・類似する事業の統合はできないか	3 統合できる事業はない
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか	1 市民ニーズは変わらずにある
	民間によるサービスで代替できる事業はないか	3 民間によるサービスで代替できる事業はない
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか	1 目的達成のために適切な手段(最小事業)である
公平性	受益者負担は公正・公平か	○.負担導入済 ○-1 受益者負担を求めているが、その額や対象等を再検討すべき事業がある
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施 △-2 市民等と協働して実施する事業はない
		協働実施済の場合のパートナー

(3) 総合評価 ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】	<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 改善・変更	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 休止・廃止
老朽化が進行しているため、ストックマネジメント計画により、修繕・改築を進めていく。					

【参考】

◎事業実施に係る主な指標

指標(単位)	水質保全貢献率						単位	mg/l
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
公共下水道事業の大きな目的である「公共用水域の水質の保全」への貢献度を示すことで、都市の持続的かつ安定的な発展を目指すもの。 (放流水BOD)	目標値	15以下	15以下	15以下	15以下	15以下	15以下	
	実績値	最大値 山崎浄化センター 10 七里ガ浜浄化センター 4.8	最大値 山崎浄化センター 12 七里ガ浜浄化センター 5.4					
	達成率	100.0%	100.0%					

指標(単位)	公衆衛生貢献率						単位	%
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
公共下水道事業の大きな目的である「公衆衛生の向上」が安定的に実施されているか否かを示す係数 (365日-事故等により広範な地域に下水道の使用制限等を与えた日数)/365日	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
	実績値	100.0	100.0					
	達成率	100.0%	100.0%					

指標(単位)	生活利便影響率						単位	%
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
下水道使用者が、最終樹のつまり等で排水困難となり、生活の利便性にどの程度影響を与えたかを示す係数 (通報件数/現在水洗便所設置済人口(決算統計10表12列))×100	目標値	0.1%以下	0.1%以下	0.1%以下	0.1%以下	0.1%以下	0.1%以下	
	実績値	0.02	0.02					
	達成率	100.0%	100.0%					

指標(単位)	不明水率						単位	%
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
下水道事業における不明水は、下水道経営の悪化の原因になるとともに、衛生上のリスクの増大、公共用水域の水質保全などの影響が懸念される「下水道事業の問題のひとつ」であり、自治体自らが不明水の実態および不明水の増加傾向などを把握することで、より健全な下水道経営と様々なリスクの事前回避を実現することが可能となる。 (年間総処理水量(決算統計10表01行49列)-年間有収水量(決算統計10表01行52列))/年間総処理水量×100	目標値	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	
	実績値	14.2	14.4					
	達成率	70.7%	69.6%					

比較事項								
団体名	鎌倉市							
他市実績								

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	
----------------------	--